

ヴィラ湖水苑

節分 豆まき



2月3日の節分に、昼食には巻き寿司を食べ、午後から豆まきを行いました。赤鬼と青鬼めがけて、全力で豆をまかれる方、優しくまかれる方など様々でした。「鬼は外！福は内！」と大きな声が響きました。コロナ禍で思うように面会や外出ができない中、皆さんの気分転換になり、笑い声であふれていました。

習字（立春大吉）



2月4日に、立春大吉を習字で書きました。立春大吉とは立春に書く厄除けの文字です。皆さん1年間厄災が起こらないように願いを込めて書かれていました。普段は習字を書かない職員も入居者様と一緒に取り組みました。

糸を使った工作



3月2日に、糸を使った工作を行いました。いつも端切れの布を提供して下さる三国ソーイング様から、ミシン用の糸をたくさんいただきました。その糸を使い、入居者様と一緒にお雛様作りをしました。綺麗な色の糸で、お雛様の衣装にピッタリでした。

グループホーム湖水苑

節分会



2月2日にグループホーム湖水苑とグループホーム湖水苑Ⅱ合同で、節分会を行いました。若手職員が鬼の仮面を被り、皆様に豆を投げてもらい楽しんで頂きました。豆まき後は、お茶会を開き、皆様に抹茶と和菓子で楽しんで頂きました。

ケアサポート相生

春の訪れ



ベテラン主婦たちが何とも手際よく、ふきのとうの葉やへたを取り、つくしもあたまと袴をあつという間にはぎとられました。午後のレクリエーションの後、ふきのとうは天ぷらと露味噌煮に変身、つくしも佃煮に姿を変え、桜茶と共に皆さんのお腹と心を満たしてくれました。

体操



皆さんの今もっておられる機能の維持・向上を図り、これからも住み慣れた自宅での暮らしを継続していただけるよう、午前中は機能訓練のための体操に積極的に取り組んでいただいています。ストレッチやボール体操、下肢筋力アップや握力アップに特化した体操など、工夫を凝らしながら、皆さん真剣な表情で日々取り組んでおられます。

特別養護老人ホーム湖水苑

お正月の様子



明けましておめでとうございます。皆さんと一緒に新年を迎えられた事に感謝し、お祝いいたしました。お手玉・コマ回し・福笑いなど正月遊びを、「懐かしい。」と会話を弾ませておられました。ノンアルコールではありますが、お神酒や梅酒を一口頂かれました。普段とは違う、年頭だからこその笑顔がたくさんあふれておられる1枚を撮ることができました。

出雲商業高校と出雲農林高校にて地域企業ガイダンス



3月7日・16日に、出雲商業高校と出雲農林高校の1・2年生対象の地域企業ガイダンスに参加しました。当法人が地域でどのような役割を行い、どのような仕事を行っているのか、やりがいを含め生徒さんにお伝えしました。説明中も熱心に耳を傾けてくださり、終わった後も相談してくれる熱心な生徒さんもいて温かみのある企業ガイダンスとなりました。

福祉車両（リフト車）納車



3月18日、これまで皆様からいただいた寄付金によりトヨタハイエースの福祉車両（リフト車）を購入させていただきました。車いすやリクライニング式車いすが2台入る仕様です。通院やコロナが明けた際には外出行事等、有効に活用させていただきます。大変ありがとうございました。

たいしゃ保育園

体操教室



3月1日に、ぱんだ・ぞう組が、今年度の最後の体操教室で、初めてジョイナススポーツクラブに出かけました。広い教室の中にはたくさんのはじめて見る用具があり、子どもたちは嬉しくて大興奮でした。トランポリンやボルタリングなど普段の保育園では経験できない器具を使って、たくさんからだを動かして楽しみました。

えにし森（鹿蔵山）オープニングセレモニー



3月9日に、ぱんだ・ぞう組が、えにし森（鹿蔵山）オープニングセレモニーに参加しました。えにし森（鹿蔵山）とは、大社小学校の裏山にあり地主さんから土地提供をいただいで、大社小学校・大社幼稚園・たいしゃ保育園の遊び場でもあります。このたび自然公園としてリニューアルされ、東屋を建てていただきました。鹿蔵山プロジェクトの皆様は草刈りなどの手入れをしていただいでおり、子どもたちがのびのびと自然活動ができることに感謝します。

修了式



3月19日に、修了式を行いました。小さかったみんなが、友だちと一緒にたくさんの経験をする中で心も体も強くたくましくなり、そして思いやりのある子どもたちに育ってくれました。22名の堂々とした姿を見ると、保育園で学んだすべてのことが、これからの新しい一歩を支える力になると信じています。